

13期 生演奏を楽しむ音楽科

～心豊かなひと時～

<第3回講義 楽器の魅力①クラシックギター>

- ・日時： 2025年5月16日(金) 午前10時～12時
- ・場所： 池田市・ナムの広場
- ・講師： 大野ギター音楽院講師 加治川 岳(かじかわ たかし)先生



加治川 岳先生

1. 講義内容

- (1)クラシック曲を演奏する<ギター>の種類と歴史
- (2)クラシック・ギターによる演奏(全17曲)と曲の解説

2. <ギター>の種類と歴史

(1)ギターの種類

クラシック曲を演奏するギターには、「クラシック・ギター」と「アコースティック・ギター」がある(下図)。「弦」の材質は、クラシック・ギターでは古くからガット弦(羊の腸)が使用されていたが、1950年頃から「ナイロン弦」となった。高音側の第1弦～第3弦はナイロン弦(単線)で、低音側の第4弦～第6弦は細いナイロン糸を束ねた上から銀メッキ銅線を巻き付けた巻線弦。アコースティック・ギターではスチール弦が使用される。演奏の際に(撥弦のために)ピックを使用するかどうかは、いずれのギターにおいても演奏者の選択による。

(2)ギターの歴史

ギターの歴史をたどる場合に、撥弦により音を出す楽器は紀元前からあったと言われている。ギターの始まりは14世紀から15世紀に移り変わる頃に、スペインで最初のギターとも言える撥弦楽器が誕生。この楽器は複弦4コースのものであった(複弦4コースとは、1コースすなわちネックのほぼ同じ位置に2本ずつ、合計8本の弦)。

初期のギターは、現状のものよりもやや小型であった。ギターの音量は表板の響きに依存する。17～18世紀ごろには「スペインの作曲家 F.タレガ」が、多数のギター演奏用の曲を作曲し、またすでに存在する他の楽器用の曲をギター曲に編曲するための活動をすることで演奏活動の活発化を促し、現在の大きさのギターが普及し定着することとなった。

楽器における音量という要素は重要であり、「フォルテ・ピアノ」の出現によって、音量では勝てないために「ヴィオラ・ダ・ガンバ」がすたれて行ったという歴史もある。



3. クラシック・ギターによる演奏

教室での演奏の出だしは、レジュメには記載されていない「涙(F. タレガ作曲)」の演奏から始まり、その後は適宜の解説をはさみながらの演奏があった。

(1)アルハンブラの思い出(F. タレガ)

ギター曲の小品として最も有名な作品のひとつ。高度な演奏テクニックであるトレモロ奏法を活用した曲としても名高く、右手の薬指、中指、人差し指で一つの弦を繰り返しすばやく弾くことによりメロディを奏する。親指はバス声部と伴奏の分散和音を担当する。

(2)無伴奏チェロ組曲第1番より プレリユード(J.S.バッハ)

1720年頃の作曲。チェロのために作曲されたが、今ではチェロ以外の楽器での演奏の機会が多い。

(3)スペイン・セレナーデ(J.マラッツ)

この曲は、セレナーデの祖型とも呼ばれる。携行可能な楽器(リュートやギターなど)で演奏される。

(4)禁じられた遊び

映画「禁じられた遊び」の主題曲として一躍有名となった曲。原曲は「愛のロマンス」で、19世紀後半にスペインのギター奏者で作曲家のアントニオ・ルビーラが練習曲として作曲したとも言われるが、さらにルーツをたどるとウクライナ民謡の「美しい月光」という説もある。

(5)カヴァティーナ(S.マイヤーズ)

カヴァティーナは、元は反復部のない、素朴な性格の短い曲という意味であるが、現在ではアリアやレチタティーヴォなどと区別して、素朴な旋律をもつ歌謡的な曲という意味に使われる。

(6)第三の男(A.カラス)

「The Third Man」は、1949年に製作されたイギリス映画。物語は第二次世界大戦直後のウィーンが舞台。

(7)夜が来る(小林亜星)

だれもが知っているメロディ。JR 京都線の「島本駅」の列車接近メロディーとして使われている。

(8)リメンバー・ミー(ディズニー映画)

2017年のディズニー映画の曲。最後のシーンで少年が歌うこの曲を聴くとみんなが泣いてしまう感動の場面。

(9)エストレリータ(M.ポンセ)

(10)オーヴァー・ザ・レインボー(H.アーレン)

映画「オズの魔法使い」の主題歌で、元はギター曲ではない。武満徹編曲による難曲を演奏。

(11)さくら(森山直太朗)

約10分間の休憩のあと、「ここからは、クラシックの演奏会でよく演奏される曲目」として、次の6曲が演奏された。

(12)バッサカリア(S.L.ヴァイス)

元はリュートの曲(次の(13)も)。リュートの優雅な雰囲気が表現できればと、調弦においても細心の注意しながらの演奏。

(13)リュート組曲4番よりロンド風ガヴォット(J.S.バッハ)

(14)椿姫の主題による幻想曲(J.アルカス)

編曲はアルカスとしているが、彼の知人であったタレガの編曲である可能性も。ヴェルディの「椿姫」のメロディが編曲の中に美しく反映されている。

(15)アストリアス(I.アルベニス)

アルベニスはピアノ曲の作曲家。タレガなどとともに、19世紀の終りから20世紀にかけて活躍。この曲は、元はピアノ曲であるが、今やギターでの演奏の方が多い。

(16)さくら変奏曲(横尾幸弘)

「さくらさくら」の変奏曲。琴の音色を模したような、素晴らしい編曲。海外の演奏者も競って演奏している。

(17)森に夢みる(A.バリオス)



4. 講義の感想

クラシック・ギターの美しいナマの音色を間近で鑑賞することができた貴重な演奏会でした。[広報担当:S.S.]